

災害に対して自治体ができる備えについて



大豆生田 春美 議員



一般質問



秋山 幸子 議員



障がいを持っている児童生徒に必要な支援について

質問…トイレカーの導入を検討していただきたいと思いますが、市長の見解を伺います。

答弁…台数は明確に申し上げられませんが、移動式のトイレカーについては、導入に向け調査研究をしています。

質問…政府が11月末までにまとめる総合経済対策に防災・減災対策を盛り込んで、トイレカー、キッチンカー、ベッドなどの避

難所への整備に向けて、自治体への交付金で購入を支援すると載っています。ぜひこのトイレカーは前向きに検討をお願いしたいと思いますが、今一度伺います。

答弁…前向きに検討していきます。

質問…コンテナホテル事業者等と災害時協力における協定を結ぶ考えはあるか伺います。

答弁…富士見に建設中のコンテナハウスは相当大きな規模、44台設置されるようです。規模からすると大きな活用ができると考えます。協定を結んで災害時の協力を得ることが望ましいと判断しますので、下石上の事業者も含め、条件面などを詰めるから協定に向けて進めていきたいと考えています。

質問…令和6年8月に県教育委員会の方針において、那須特別支援学校併設の教育的寄宿舎を令和6年度末に閉舎するとしていますが、障がいを持つ子ども

答弁…県教育委員会の臨時会において、全会一致で閉舎が決定したところです。本市としては、

県教育委員会の決定を尊重し、存続の要望は考えていません。

質問…現在、児童生徒数が減少しているにもかかわらず、県内の障がいを持つ児童生徒は増加していると言われています。大田原市も増加しているか伺います。

答弁…全国的な傾向でもあるのですが、特別支援学級に在籍する児童生徒は増加傾向であり、来年度も何学級か増える

予定です。

質問…児童生徒が青年期に移行する準備の居場所としてシャトー・エスポワールを教育的寄宿舎として活用することを提案しますが、市の考えを伺います。

答弁…市が多額の費用をかけて施設として復活させることは難しい状況です。参考意見として県に報告します。